

令和5年度(2023年度)日韓文化交流基金 事業実績

一般会計

1. 自主事業

(1) 第36回日韓文化交流基金韓国訪問団・日韓文化交流基金賞

令和2年より新型コロナウイルスをめぐる状況に鑑み実施を見合わせていた「日韓文化交流基金韓国訪問団」を3年ぶりに派遣した。「日韓文化交流基金賞」については実施を見送った。

(日程)

	行事
令和5年 4月18日(火)	ソウル到着 朴振(パク・ジン)外交部長官表敬 李相禹(イ・サンウ)韓日文化交流基金会長主催晩餐会
4月19日(水)	ソウルジャパンプラブ役員との朝食懇談会 国際教育院 柳惠淑(リュ・ヘスク)院長表敬 相星孝一駐韓国大使表敬 鄭在貞(チョン・ジェジョン)ソウル市立大学名誉教授、 金浩燮(キム・ホソプ)中央大学名誉教授との夕食懇談会
4月20日(木)	鮮于鉦(ソヌ・ジョン)朝鮮日報編集局長、許文明(ホ・ムンミョン) 東亜日報記者との昼食懇談会 ソウル大学日本研究所訪問 帰国

(2) 基金創立40周年記念事業

① 動画コンテスト

日韓両国の市民を対象とした動画コンテストを実施(中学生・高校生、大学生、一般の3部門)。各部門の最優秀作品は当基金ウェブサイトにて公開している。

テーマ:「(1) あなたに伝えたい日本の魅力」、「(2) あなたに伝えたい韓国の魅力」
「(3) あなたに伝えたい日韓の友情」

募集期間: 令和5年9月1日～10月31日

募集部門: ①中学生・高校生、②大学生、③一般

応募件数: 計23件

② アンケート

主要事業である青少年交流事業(JENESYS プログラム)について、今後より効果的に実施するためのヒントを得ることを目的に、過去の事業参加者を対象としたアンケート調査を以下の内容で実施。集計結果はウェブサイト上で公開している。

調査方法: インターネット調査(ホスティング)

調査地域：日本・韓国

対象者条件：平成 25(2013)年度～令和 4(2022)年度の間に実施された訪韓団・訪日団の参加者で、調査実施の時点でメール連絡の可能な方々。

【日本】参加当時大学生(479名)

【韓国】参加当時大学生又は高校生(2,588名)

回収数：【日本】114名(24%)

【韓国】768名(30%)

調査期間：令和 5 年 9 月 1 日(金)～9 月 30 日(土)

調査機関：株式会社インテージリサーチ

2. 賛助会員制度

(1) 加入(会費：一口 1 万円)の状況(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

種別(年会費)	人数/法人数	口数	金額
① 特別会員(3口以上)	4名	12口	120,000円
② 個人会員(1口以上)	41名	44口	440,000円
③ 法人会員(5口以上)	1団体	5口	50,000円
計	45名 1団体	—	610,000円

(令和 6 年 3 月 31 日現在有効会員)

①特別会員(五十音順)

鹿取克章(3) 古賀信行(3) 中江新(3) 渡辺浩(3)

計 4 名

②個人会員(五十音順)

青野正明	阿部孝哉	安倍誠	飯島渉	磯崎典世
稲葉真岐子	林在圭	内田富夫(2)	小野正昭(2)	大竹洋子
菅野修一	姜英淑	木畑洋一	小林直人	小針進
高麗文康	坂井俊樹	阪田恭代	酒勾康裕	櫻井浩
佐藤俊行	白川豊	塚本壮一	陽清学園 津谷正毅	都恩珍
西澤豊	波田野節子	墨の美術館 濱崎道子	日本民藝館 館長 深澤直人	福原裕二
藤田昭造	藤本幸夫	堀泰三	馬定延	前田二生
松井貞夫(2)	實生泰介	向修一	茂木敏夫	余田幸夫

和田とも美

計 41名

③法人会員

和光物産株式会社(5)

計 1 団体

(2) 会費収入の用途

(i) 【講演会】

オンライン講演会を令和6年3月に開催。

・令和6年3月8日 参加者：83名

「ポストコロナの新たな日韓関係を展望する」

(講師：権容爽 一橋大学大学院法学研究科准教授)

(ii) 【学術定期刊行物助成】

当基金学術定期刊行物助成事業の対象刊行物2点に対する助成金(400,000円)として活用した。

書名	申請団体
『韓国朝鮮の文化と社会』第22号	韓国・朝鮮文化研究会
『現代韓国朝鮮研究』第23号	現代韓国朝鮮学会

3. 外務省からの受託事業

(1) 日韓歴史家会議

行事名	開催日	会場
講演会「歴史家の誕生」	令和5年11月17日	韓国・ソウル
第23回会議 「歴史における戦争と文明」 参加者：日本側 11名 韓国側 15名	令和5年11月18日～19日	韓国・ソウル

第1特別会計

日韓学術文化・知的交流事業

1. 助成事業

(i)1次募集分

合計 27 件

No.	事業名	申請団体	実施期間
1	第9次 21世紀の朝鮮通信使 ソウル～東京 友情ウォーク	21世紀の朝鮮通信 使 友情ウォークの会	令和5年 4月1日～ 5月23日
2	日韓生涯スポーツ交流事業－マスタース 陸上交流を通して社会貢献を目指す－	国民生活体育大邱広 域市達西区陸上連盟	令和5年 5月3日～6日
3	オウルリム芸術団招聘公演事業	認定特定非営利活動 法人日本車椅子レク ダンス協会	令和5年 5月5日～8日
4	2023 東アジア国際シンポジウム	一般財団法人東アジ ア総合研究所	令和5年 5月17日
5	武寧王生誕祭並びに百濟 25代武寧王没 後 1500年記念行事	まつろ・百濟武寧王 国際ネットワーク協 議会	令和5年 6月3日～4日
6	立命館守山中学校中学生海外（公州市） 派遣事業	立命館守山中学校	令和5年 6月12日～16日
7	East Asia Theater Interaction in Busan 舞台芸術交流プログラム	East Asia Theater Interaction 実行委 員会	令和5年 6月13日～18日
8	烏鵲橋プロジェクト	FUTURE EMOTION	令和5年 6月28日
9	日韓リーディングワークショップ（韓国出張 版）	一般社団法人フリン ジシアターアソシエ ション	令和5年 7月2日～4日
10	日韓交流事業現代演劇企画 THEATRE ATMAN 第12回公演「記憶の部屋」日韓 文化交流会	THEATRE ATMAN	令和5年 7月21日～23日
11	第2回セラプレイウィーク「子どもの眼で世 界を見る実践探究」	特定非営利活動法人 日本セラプレイ協会	令和5年 7月22日～23日
12	日韓青少年交流訪韓団	日韓親善協会中央会	令和5年 7月23日～28日
13	青少年日韓音楽交流会	SPIELRAUM	令和5年 8月4日～6日

No.	事業名	申請団体	実施期間
14	第 39 回日韓学生フォーラム	第 39 回日韓学生フォーラム	令和 5 年 8 月 5 日～12 日
15	International Business Contest (IBC)	OVAL KOREA	令和 5 年 8 月 10 日～17 日
16	FICS 2023 夏 ソウル・東京セッション	FICS 東京大学	令和 5 年 8 月 17 日～21 日
17	日韓文化スポーツ交流会' 23	一般社団法人九州スポーツ振興支援会	令和 5 年 8 月 18 日～20 日
18	第 15 回福岡インディペンデント映画祭 2023	福岡インディペンデント映画祭実行委員会	令和 5 年 9 月 1 日～3 日
19	「日韓交流おまつり 2023 in Seoul」岩崎鬼剣舞 派遣事業	岩崎鬼剣舞保存会	令和 5 年 10 月 20 日～23 日
20	「日韓交流おまつり 2023 in Seoul」SAKURA J SOUNDS 派遣事業	ハートツリー株式会社	令和 5 年 10 月 21 日～23 日
21	令和 5 年度韓国世宗大聖高等学校交流事業	三重県立津商業高等学校	令和 5 年 10 月 29 日～ 11 月 2 日
22	宗像 CSR 日韓環境国際交流	宗像 CSR 推進実行委員会	令和 5 年 11 月 3 日～4 日
23	対馬の歴史と文化と自然を知る日韓ユース・ワークショップ 2023	朝鮮文化財ワークショップ実行委員会	令和 5 年 11 月 9 日～12 日
24	日韓政治思想学会 第 16 回国際共同学術会議	政治思想学会	令和 5 年 12 月 9 日
25	共通の課題解決のための日韓大学生によるセミナー	山形大学 高吉嬉研究室	令和 5 年 12 月 28 日 (オンライン) 令和 6 年 2 月 15 日～17 日 (対面)
26	「平和のリボン」障がい者アーティストと健常者アーティストによる日韓音楽プロジェクト	アンサンブルメゾン	令和 6 年 1 月 27 日
27	2023 静岡・釜山新朝鮮通信使友好事業「～交流の足跡をたどり、未来をともに描こう～」	一般財団法人静岡市国際交流協会	令和 6 年 2 月 21 日～25 日

(ii) 2次募集

合計 8 件

基金創立 40 周年記念事業として、下記の2分野を対象事業とした支援を実施。

- ① 地域の特性を活かした日韓交流
- ② 大学生・高校生や若手社会人による日韓交流

No.	事業名	申請団体	実施期間
1	令和 5 年度日韓青少年対話型交流事業 「日韓みらいファクトリーアワード 2023」	日韓みらいファクトリー アワード実行委員会	令和 5 年 10 月 21 日～ 12 月 23 日
2	2023 年度 日韓親善中学生国際交流オ ールスター戦	一般財団法人日本リ トルシニア中学硬式 野球協会 関西連盟 中国支部	令和 5 年 11 月 10 日～13 日
3	大学生による日韓青少年スポーツ交流事業	福岡大学	令和 5 年 11 月 21 日～24 日
4	パワーアップ プロジェクト ～交流・体験・ 発信～	TANAKAMI こども環 境クラブ	令和 6 年 1 月 4 日～7 日
5	日韓精神障害者交流事業 2023	一般社団法人精神障 害当事者会ポルケ	令和 6 年 1 月 8 日～12 日
6	日韓市民活動未来フォーラム「市民活動 と市民自治の役割と未来に向けて」	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	令和 6 年 1 月 11 日～14 日
7	日韓協働環境平和フォーラム 2023	慶南青年カレッジ実 行委員会	令和 6 年 2 月 12 日～17 日
8	第5回日韓友好のつどい in OITA	NPO 法人日韓芸術 文化交流会	令和 6 年 2 月 15 日～16 日

2. 学術研究者交流事業

(i) 招聘

合計 12 名

No.	氏名	研究テーマ	受入機関	期間
1	徐在吉	日韓演劇交流の現在と展望	早稲田大学文 学学術院	令和 5 年 4 月 1 日 ～8 月 31 日
2	朴在浩	若者政策の変容に関する日韓比較— 選抜型シティズンシップから政治的なシ ティズンシップへの転換—	東京都立大学 大学院人文科 学研究科社会 福祉学教室	令和 5 年 4 月 4 日 ～9 月 30 日

No.	氏名	研究テーマ	受入機関	期間
3	金楷妍	雲谷等顔(1547-1618)と近世西日本の 絵画:パトロンと東アジアの観点から	学習院大学文学部	令和5年4月8日 ～5月31日
4	姜多映	1904年以後の日本の軍事制度移植について-大韓帝国元帥府の解体を中心に-	東京大学大学院人文社会系研究科	令和5年4月24日 ～10月20日
5	盧姪鉉	With コロナ時代における日本人の対人行動や意識-韓国人との対照の観点から-	東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻	令和5年4月24日 ～10月20日
6	徐ハンナ	日本国内の朝鮮人(韓国人)殉教者に関する報道及び巡礼者の経験及び認識に関する研究	上智大学神学部神学科	令和5年4月25日 ～9月11日
7	李炯植	戦後引揚げた日本人の植民地体験と記憶-友邦協会録音記録を手がかりとして-	立教大学経済学部	令和5年7月1日 ～12月27日
8	朴志慧	帝国日本の博覧会とジェンダー	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻	令和5年10月1日 ～令和6年3月28日
9	安用熙	金素雲と戦後日本	専修大学国際コミュニケーション学部	令和5年10月1日 ～令和6年3月28日
10	田美京	日本の外国人住民対象の日本語教育政策	筑紫女学園大学文学部	令和5年11月3日 ～令和6年3月27日
11	權丁熙	文学の越境と近代日韓のメディア	早稲田大学20世紀メディア研究所	令和5年12月14日 ～令和6年2月21日
12	黄仁賛	ユーチューブでつながる韓日交流の現状と関係拡大の可能性	早稲田大学国際学術院	令和6年1月2日 ～3月31日

(ii)派遣

合計 4名

No.	氏名	研究テーマ	受入機関	期間
1	西野純也	日韓外交安保協力の推進—関係改善と「インド太平洋戦略」共有に向けて—	延世大学校統一研究院	令和5年4月1日～8月31日
2	今里基	釜山・蔚山・慶南地域の在韓日本出身者コミュニティ研究—韓流ブーム以後の地方移住者に着目して—	釜慶大学校人文社会科学研究所	令和5年8月2日～9月26日
3	佐藤大介	韓国における死刑廃止議論の推移と、死刑に関する世論の動向について	東国大学校法学部	令和5年9月1日～21日
4	堀山明子	日韓間における市民対話の継承と次世代型モデルの事例研究	ソウル大学校日本研究所	令和5年11月13日～令和6年3月31日

3. 情報広報事業

(i) 広報誌

「日韓文化交流基金NEWS」100号刊行

(「100回記念特別号」として既存の12ページ構成を24ページに増頁し、基金創立40周年関連の記事も掲載)

(ii) ウェブサイト

事業の広報・情報提供を目的にウェブサイト運営している。

年月	ユーザー数
令和5年 4月	2,129
5月	2,394
6月	7,048
7月	1,016
8月	2,253
9月	2,668
10月	7,170
11月	3,635

	12月	3,341
令和6年	1月	2,676
	2月	2,156
	3月	2,277

(iii) エックス(旧ツイッター)

基金ウェブサイトの更新情報や各種行事の参加募集案内に加え、事業の様子などを短い説明と写真等を用いて、可能な限りタイムリーに発信している。

登録者数は 1,890 名(令和 6 年 5 月 2 日現在)。

(iv) フェイスブック

事業実施の様子などを写真と文章で紹介している。

登録者数は 1,008 名(令和 6 年 5 月 2 日現在)。

(v) インスタグラム

令和 6 年 3 月よりアカウントの運用を開始。事業の様子などを写真・動画等を用いて可能な限りタイムリーに発信している。

登録者数は 70 名(令和 6 年 5 月 2 日現在)。

4. 人的交流事業(教員訪韓事業)

日本の教員を韓国へ派遣し、教育現場の視察、関係者との懇談及び交流を通じ、互いの教育への取組みに接することで、日韓間の相互理解と信頼関係の増進に寄与することを目的とする交流事業を実施。JENESYS の派遣事業に社会人が含まれないため本会計で実施。

合計 1 団体 31 名

No.	案件名	団体数	人数	期間
1	日韓学術文化交流事業訪韓団	1	31	令和 5 年 8 月 20 日～26 日、 6 泊 7 日間

第 12 特別会計(JENESYS2023)

(1) 招聘・派遣事業

(i) プレプログラム(オンライン) 招聘計 4 案件 191 名、派遣計 3 案件 150 名 合計 7 案件 341 名

No.	案件名	招聘	派遣	期間
1	大学生訪韓団		30	全 1 回(令和 5 年 9 月 2 日)
2	韓国大学生訪日団	30		全 3 回(令和 5 年 9 月 2・16 日・10 月 6 日)
3	高校生訪韓団(第 1~2 団)		70	全 1 回(令和 5 年 10 月 21 日)
4	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 4~5 団)	67		全 1 回(令和 5 年 12 月 27 日)
5	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 6 団)	30		全 1 回(令和 6 年 2 月 5 日)
6	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 7~8 団)	64		全 1 回(令和 6 年 2 月 17 日)
7	大学生訪韓団(第 1~2 団)		50	全 1 回(令和 6 年 3 月 2 日)

(ii) 本プログラム(対面) 招聘計 4 案件 190 名、派遣計 3 案件 150 名 合計 7 案件 340 名

No.	案件名	招聘	派遣	期間
1	大学生訪韓団		30	令和 5 年 9 月 11 日~19 日、8 泊 9 日間
2	韓国大学生訪日団	29		令和 5 年 10 月 31 日~11 月 8 日、8 泊 9 日間
3	高校生訪韓団(第 1~2 団)		70	令和 5 年 11 月 5 日~11 日、6 泊 7 日間
4	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 4~5 団)	67		令和 6 年 1 月 9 日~17 日、8 泊 9 日間
5	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 6 団)	30		令和 6 年 2 月 13 日~21 日、8 泊 9 日間
6	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 7~8 団)	64		令和 6 年 2 月 20 日~28 日、8 泊 9 日間
7	大学生訪韓団(第 1~2 団)		50	令和 6 年 3 月 10 日~16 日、6 泊 7 日間

(2) フォローアップ事業

No.	案件名	既招聘者	既派遣者	期間
1	JENESYS 韓国青年訪日団同窓会	208		全 3 回(令和 5 年 8 月 23 日・令和 6 年 2 月 21 日・3 月 16 日)
2	JENESYS2023 日韓次世代会議	9	7	全 1 回(令和 6 年 1 月 13 日)

第 13 特別会計(JENESYS2022 phase II 補正予算)

(1) 招聘事業

(i) プレプログラム(オンライン)

招聘のみ 7 案件 282 名

No.	案件名	招聘	派遣	期間
1	日韓学術文化交流事業訪日団 (第 1~2 団)	52		全 1 回(令和 5 年 5 月 11 日)
2	韓国大学生訪日団(第 1~2 団)	80		全 1 回(令和 5 年 5 月 27 日)
3	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 1 団)	30		全 1 回(令和 5 年 7 月 4 日)
4	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 2 団)	30		全 1 回(令和 5 年 7 月 18 日)
5	在韓公館選抜 韓国青年訪日団(第 3 団)	9		全 1 回(令和 5 年 9 月 21 日)
6	韓国高校生訪日団(第 1~2 団)	71		全 1 回(令和 5 年 9 月 26 日)
7	アジア国際子ども映画祭訪日団	10		全 1 回(令和 5 年 11 月 30 日)

(ii) 本プログラム(対面)

招聘のみ 7 案件 282 名

No.	案件名	招聘	派遣	期間
1	日韓学術文化交流事業訪日団 (第 1~2 団)	52		令和 5 年 6 月 4 日~10 日、6 泊 7 日間
2	韓国大学生訪日団(第 1~2 団)	80		令和 5 年 6 月 25 日~7 月 1 日、6 泊 7 日間
3	在韓公館選抜 韓国青年訪日団 (第 1 団)	30		令和 5 年 7 月 11 日~19 日、8 泊 9 日間
4	在韓公館選抜 韓国青年訪日団 (第 2 団)	30		令和 5 年 7 月 25 日~8 月 2 日、8 泊 9 日間
5	在韓公館選抜 韓国青年訪日団 (第 3 団)	9		令和 5 年 9 月 29 日~10 月 5 日、6 泊 7 日間
6	韓国高校生訪日団(第 1~2 団)	71		令和 5 年 10 月 22 日~28 日、6 泊 7 日間
7	アジア国際子ども映画祭訪日団	10		令和 5 年 12 月 15 日~21 日、6 泊 7 日間

* 令和 5 年度実施 JENESYS(対日理解促進交流プログラム)の目的

(Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youth)

- アジア大洋州の国・地域の優秀な青年を対象に、日本に対する関心と理解を向上させ、また、プログラム経験をいかした活動をしてもらうことで、知日派を発掘・育成し、外交基盤を拡充する。
- 参加者の専門性、関心分野に沿って、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に係る対日理解を促進し、参加者からの対外発信の強化を図る。